

第13期事業年度決算報告書

自 令和 3年4月 1日
至 令和 4年3月 31日

一般社団法人 新薬・未承認薬等研究開発支援センター

令和3年度 事業報告書

1. 事業目的及び設立の経緯

「一般社団法人 新薬・未承認薬等研究開発支援センター（以下略称：「PDSC）」は、日本製薬工業協会（以下略称：「JPMA）」会員会社中心に2009年5月設立し、未承認薬等の開発に取り組む企業の研究開発・承認取得等に対する専門的・薬事的・技術的な支援や資金援助など未承認薬等開発支援事業を継続してまいりました。

一方、新薬創出については創薬標的の複雑化、科学技術の高度化・多様化・研究開発コストの高騰などにより製薬企業単独での新薬創出の難易度は高まっており、高度な技術・知見を有するアカデミア、バイオベンチャー等との産学連携や非競争領域における製薬企業間の産々連携が益々重要な役割を担っております。そこでこれら連携の業界側取りまとめを担う創薬研究推進に係る事業を2020年4月にスタートし、また更に同年7月、厚労省より「ワクチン生産体制等緊急整備事業」の基金管理団体として指名を受けたことで、現在、未承認薬等開発支援、創薬研究推進プロジェクト支援に加え、ワクチン等に係る基金管理の計3事業を中心に業務を行っております。

2. 事業活動

(1) 未承認薬等開発支援事業

ドラッグラグ解消への取組については、「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議（以下「未承認薬等検討会議：平成22年2月設置）」において必要性が高いと認められた未承認薬等（開発要請品または開発公募品）に対し、業界を挙げ積極的に対応したことで以下のように大きく進展しております。

対象	開発要請品				開発公募品				合計
	第Ⅰ回	第Ⅱ回	第Ⅲ回	第Ⅳ回	第Ⅰ回	第Ⅱ回	第Ⅲ回	第Ⅳ回	
要望を受けた件数	374	290	168	176					1008
要請又公募した件数	183	88	51	70	19	15	4	12	442
薬事承認済み件数	180	78	36	9	14	12	0	0	329
薬事承認割合（%）	98%	89%	71%	13%	74%	80%	0%	0%	74%

第50回 医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議（令和4年1月開催）等の公表資料からの自主カウントによる

これら解消の過程において、PDSCは令和3年度も下記活動を継続してまいりました。

- ① 未承認薬等の研究、開発、生産等における開発企業等に対する専門的支援
- ② 開発企業等の行う承認取得に関する各種業務等への支援

ベンチャー企業や開発経験の浅い企業を対象とするこれら支援の他、開発要請先がなく開発企業の募集に至った開発公募品をはじめ厚労省関係部署等から依頼を受けた開発要請品に係る相談・調整等に可能な限り対応しました。

また他製薬企業、医療機関、学会等からの未承認薬等に係る種々の相談等や未承認薬等の通常使用を待ち望んでおられる患者・家族からの問合せに対し丁寧に対応しました。

③ 未承認薬等の開発等に係る必要な資金の一部援助

公募品の開発募集に手挙げいただいた企業に対し、開発資金の一部助成を継続しております。

1) 助成金の交付対象

- ・平成 21 年度対策基金対象の 14 成分、開発公募品 48 件の計 62 件
- ・1 件あたりの上限助成金額は 14 成分 5,000 万円、公募品 3,000 万円

2) 助成金交付の進捗状況

- ・令和 3 年度交付実績は 4 件、計 57,789,936 円
- ・交付完了 44 件、累計交付金額は 1,502,061,804 円
(別表参照：品目毎の交付実績及び開発状況等)

				令和4年3月末	
助成対象	対象件数	交付完了件数	交付済額計 (百万円)	交付 未完了件数	交付予定額計 (百万円)
14成分(～H21.4)	14	13	641	1	50
第1回公募(H21.6～)	17	12	332	5	150
第2回公募(H23.8～)	15	14	423	1	27
第3回公募(H25.8～)	4	0	0	4	120
第4回公募(H27.7～)	12	5	106	7	210
計	62	44	1502	18	557

(2) 創薬研究推進プロジェクト支援事業

① 実施目的

製薬協「政策提言 2019」におけるイノベーション政策の実現に向け、業界主導型の研究プロジェクトの機動的な運営を図る。

② 業務内容

- 1) 研究プロジェクト全体の運営及び管理（事務局機能、研究 PJ 運営会議の開催等）
- 2) プロジェクトに係る外部組織との契約締結
- 3) 公的研究資金への応募及び資金の受け入れ

③ 研究 PJ 運営会議

1) 主要メンバー構成

議長（PDSC 専務理事）、JPMA 研究開発委員長（PDSC 理事）、JPMA 産業政策委員長（PDSC

理事)、JPMA 医薬品評価委員長、JPMA 専務理事、PDSC 担当者 (事務局代表)

2) 令和3年度開催実績

- ・第4回創薬研究プロジェクト運営会議 (令和3年9月30日)
新規プロジェクト (DDS コンソ) を含む6PJについて、進捗報告、情報共有、課題抽出および解決への助言等
- ・第5回創薬研究プロジェクト運営会議 (令和4年1月28日)
6PJについて、令和3年度実績見込み報告、令和4年度実施計画ならびに予算の審議・承認

④ 各プロジェクトのゴール等について (詳細は非公表)

1) DELs (DNA Encoded Libraries) コンソーシアム (J-MODDEL)、参加企業: 9社

《目標 (期間)》

JAPAN DELs Center の設立 (3年間)

2) PD (Protein Degradation) コンソーシアム (J-PROGRES)、参加企業: 4社

《目標 (期間)》

創薬応用が期待できる標的蛋白分解誘導薬 (PD) 手法の開発と成果物の活用 (5年間)

3) RNA 創薬コンソーシアム (J-SMART)、参加企業: 2+9社

《目標 (期間)》

低分子 RNA 創薬プラットフォームの構築 (6年間)

4) 前向きゲノムコホート研究プロジェクト、本研究参加: 2社

《目標 (期間)》

東北メディカルメガバンク機構 (ToMMo) の健康情報とゲノム情報を活用した共同研究による
予防・先制医療ソリューションの実用化 (3年間~)

5) 疾患別統合データベースの構築、参加企業: 7社

《目標 (期間)》

国立高度専門医療研究センター (4NC) との共同で AMED の産学官共同臨床情報利活用創薬プロジェクト (GAPFREE) に参画し、“疾患別情報統合 DB” の構築を通じ、参画企業の創薬研究への活用 (5年間)

6) DDS コンソーシアム (参加企業: 17社)

《目標 (期間)》

新規 DDS 及び最先端モダリティの組み合わせにおける臨床予測性の向上

(3) 「ワクチン生産体制等緊急整備等事業」の基金管理事業

下記のごとく追加基金事業の予算が承認され、総額: 約4兆円規模に拡大しております。

- ① 令和2年7月、ワクチン生産体制整備事業 (約1,300億円)
- ② 令和2年9月以降順次、海外ワクチン確保事業 (約1兆9,100億円)
- ③ 令和3年3月、国産ワクチンの研究開発支援事業 (約700億円)

- ④ 令和4年3月、③の追加支援および治療薬の確保事業等（約7,300億円）
- ⑤ 令和4年4月、ワクチンおよび治療薬の追加確保事業等（約1兆900億円）

先般、会計検査院による令和2年度及び3年度基金事業に対する実地検査が施行され対応しました。

① 新型コロナウイルスワクチン生産体制整備事業

「目的」

国内外で開発されたワクチンを国内で生産・製剤化するための施設・設備等整備費用の補助

「交付実績」

令和3年度交付実績は以下のとおりである。

企業（採択）	助成金額	令和3年度交付額	助成累計額	残額
武田薬品工業	30,136,410,000	6,160,680,000	30,136,410,000	0
塩野義製薬	22,303,510,000	10,288,840,000	22,303,510,000	0
アストラゼネカ	15,039,649,050	8,167,333,000	15,039,649,050	0
アンジェス	9,380,300,000	5,351,000,000	9,380,300,000	0
KMバイオロジクス	9,800,000,000	7,770,000,000	9,800,000,000	0
第一三共	6,030,000,000	0	6,030,000,000	0
6社計	92,689,869,050	37,737,853,000	92,689,869,050	0

（一次公募で6事業者が採択され、二次公募でVLP社が追加）

② 海外ワクチン確保事業

「目的」

国民へのワクチン接種のためのワクチン確保。

「交付実績」

非開示のため、総額表示。

第一次：対象企業はファイザー-pharmacy、モデルナ（武田薬品）、アストラゼネカ

企業（指名）	総額	令和3年度交付額	助成累計額	残額
3社計	795,190,239,580	0	795,190,239,580	0

第二次：対象企業はファイザー、モデルナ（武田薬品）、ノババックス（武田薬品）、モデルナJ

企業（指名）	総額	令和3年度交付額	助成累計額	残額
4社計	1,166,117,381,440	662,628,135,113	662,628,135,113	503,489,246,327

③ 新型コロナウイルスワクチン開発支援等事業

「目的」

生産体制整備事業で採択した国産ワクチン開発企業4社（第一三共、塩野義製薬、KMバイオロ

ジックスおよびVLP社) に対し発症予防効果評価試験費用等の補助
「交付実績」

非開示のため、総額表示

企業 (採択)	助成金基準額	令和3年度交付額	交付金額累計	残額
4社計	-	34,776,874,000	34,776,874,000	-

【管理事務費】

基金管理団体	基準額	令和3年度配賦額	配賦済金額累計	残額
P D S C	180,439,000	49,165,875	82,824,805	97,614,195

令和4年度配賦予算：49,170,000円

2. 本年度、開催した理事会および社員総会

(1) 理事会

第37回理事会

日 時：令和3年5月28日

場 所：日本橋ライフサイエンスビルディング3階

- 議 案：① 令和2年度事業報告に関する件
② 令和2年度決算報告に関する件
③ 定時社員総会招集および付議すべき議案の承認に関する件

第38回理事会

日 時：令和3年6月24日

場 所：日本橋ライフサイエンスビル2階

- 議 案：① 代表理事選任に関する件
② 専務理事選任に関する件

第39回理事会

日 時：令和4年3月17日

場 所：日本橋ライフサイエンスビル3階

- 議 案：① 令和4年度事業計画に関する件
② 令和4年度予算に関する件
③ 助成金交付管理規程の一部変更に関する件
④ 副代表理事の選定に関する件

(2) 社員総会

日 時：令和 3 年 6 月 24 日

場 所：日本橋ライフサイエンスビルディング 2 階 大会議室

出席社員：出席 26 社および委任状提出 47 社（総社員数 73 社）

議 案：① 令和 2 年度事業報告に関する件
② 令和 2 年度決算報告に関する件
③ 理事および監事の選任に関する件

以 上

別表

《未承認薬 14 成分》 上限 5,000 万円

令和 4 年 3 月末見込み (単位: 円)

	成分名	開発企業	令和3年度交付額	交付額累計	残額	開発状況
1	クロファラビン	ジェンサ [®] イム・ジヤパン	完了	44,547,779	0	薬価収載・販売
2	アレムツズマブ	ジェンサ [®] イム・ジヤパン/サノフィ	完了	49,200,828	0	薬価収載・販売
3	タルク	ノーベルファーマ	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
4	スチリペントール	Meiji Seikaファルマ	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
5	ルフィナミド	エーザイ	完了	47,225,202	0	薬価収載・販売
6	メサドン	帝國製薬	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
7	ヒトヘミン	シミックHD	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
8	テトラベナジン	アルフレックファーマ	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
9	経ロリン酸塩製剤	ゼリア新薬	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
10	フェニル酪酸ナトリウム	シミックHD	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
11	ストレプトゾシン	ノーベルファーマ	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
12	システアミン	マイラン製薬	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
13	ベタイン	レクメド	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
14	パグアスパラカセ	協和キリン/セルヴィエ	0	0	50,000,000	開発中
	合計		0	640,973,809	50,000,000	

《第 1 回開発企業公募 17 件》 上限 3,000 万円

令和 4 年 3 月末見込み (単位: 円)

	成分名	開発企業	令和3年度交付額	交付額累計	残額	開発状況
1	コリスチンメタンホルン酸 ナトリウム塩 (注射剤)	グラクソ・スミスクライン	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
2	コリスチンメタンホルン酸 ナトリウム塩 (吸入剤)	(企業名未公表)	—	—	30,000,000	—
3	プロゲステロン (経口剤)	富士製薬工業	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
4	プロゲステロン (経膈剤)	富士製薬工業	完了	30,000,000	0	販売
5	メトロニダゾール	ファイザー	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
6	デクスラゾキサソ	キッセイ薬品工業	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
7	亜セレン酸ナトリウム	藤本製薬	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
8	ホメピゾール	武田薬品工業	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
9	メチレンブルー	第一三共	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
10	モルヒネ塩酸塩水和物	日本メドトロニック	完了	2,057,051	0	薬事承認済

11	アルデスロイキン	(企業名未公表)	—	—	30,000,000	—
12	カルグルミック酸①	ポーラファルマ	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
13	ニチシノン	アステラス製薬	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
14	安息香酸ナトリウム・フェニル酢酸ナトリウム配合剤	武田薬品工業	0	0	30,000,000	—
15	リロナセプト	(企業名未公表)	—	—	30,000,000	—
16	ナフシリン	(企業名未公表)	—	—	30,000,000	—
17	ハイドロモルフォン塩酸塩	第一三共	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
	合計		0	332,057,051	150,000,000	

《第2回開発企業公募 15件》 上限 3,000 万円 令和4年3月末見込み (単位:円)

	医薬品名	開発企業	令和3年度交付額	交付額累計	残額	開発状況
1	カルグルミック酸②	ポーラファルマ	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
2	ジメチルスルホキシド	杏林製薬	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
3	スルファジアジン	ハルティスファーマ	0	3,034,444	26,965,556	開発中
4	チオテパ (成人)	大日本住友製薬	完了	60,000,000	0	薬価収載・販売
5	チオテパ (小児)					
6	ヒスタミン二塩酸塩 (成人)	JT/鳥居薬品	完了	60,000,000	0	薬価収載・販売
7	ヒスタミン二塩酸塩 (小児)					
8	ペガデマールゼ	帝人ファーマ	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
9	メコリン塩化物 (成人)	三和化学研究所	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
10	メコリン塩化物 (小児)	参天製薬	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
11	メチロシン	小野薬品工業	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
12	イブプロフェン リジン塩	千寿製薬	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
13	3-エトドベンゾジルゲアジン①	富士フィルム RI ファーマ	完了	90,000,000	0	開発計画中
14	3-エトドベンゾジルゲアジン②					薬価収載・販売
15	3-エトドベンゾジルゲアジン③					開発計画中
	合計		0	423,034,444	26,965,556	

《第3回開発企業公募 5件》 上限 3,000 万円 令和4年3月末見込み (単位:円)

	医薬品名	開発企業	令和3年度交付額	交付額累計	残額	開発状況
1	ヒト合成セクレチン①	(企業名未公表)	—	—	30,000,000	—
2	ヒト合成セクレチン②	(企業名未公表)	—	—	30,000,000	—
3	アナキンラ①	SOB-J	—	—	30,000,000	治験準備中
4	イベルメクチン	科研製薬	—	—	30,000,000	開発中
	合計		0	0	120,000,000	

《第4回開発企業公募2件》 上限3,000万円

令和4年3月末見込み (単位:円)

	医薬品名	開発企業	令和3年度交付額	交付額累計	残額	開発状況
1	ヘリウム酵素混合ガス	エア・ウォーター	0	0	30,000,000	開発中
2	Carbidopa/Levodopa	大原薬品工業	0	0	30,000,000	治験準備中
3	ミダゾラム	なし			30,000,000	
4	β-グルクロニダーゼ	アミカス・セパティクス	完了	30,000,000	0	承認申請中
5	コール酸 (成人)	レクメド	41,793,436	60,000,000	0	開発中
6	コール酸 (小児)					
7	アナキンラ②	SOB-J	0	0	60,000,000	治験準備中
8	アナキンラ③					
9	ワダンゼトツ (成人)	丸石製薬	15,996,500	0	0	承認申請中
10	ワダンゼトツ (小児)					
11	Angiotensin II	なし			30,000,000	
12	イソトレチノン	なし			30,000,000	
	合計		57,789,936	105,996,500	210,000,000	

SOB-J: Swedish Orphan Biovitrum JAPAN

貸借対照表

(令和 4年 3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	62,331,154,919	134,752,477,401	-72,421,322,482
有価証券	2,296,890,338,887	0	2,296,890,338,887
前払費用	634,370	634,370	0
流動資産合計	2,359,222,128,176	134,753,111,771	2,224,469,016,405
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
役員退職慰労引当資産	13,440,000	11,920,000	1,520,000
退職給付引当資産	628,486	0	628,486
センター支援事業引当資産	300,000,000	400,000,000	-100,000,000
新型コロナウイルスワクチン 管理事業特定預金	97,614,195	146,780,070	-49,165,875
特定資産合計	411,682,681	558,700,070	-147,017,389
(2) その他固定資産			
付属設備	385,957	467,020	-81,063
什器備品	40,799	46,627	-5,828
敷金	4,610,962	4,610,962	0
その他固定資産合計	5,037,718	5,124,609	-86,891
固定資産合計	416,720,399	563,824,679	-147,104,280
資産合計	2,359,638,848,575	135,316,936,450	2,224,321,912,125
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	324,620	205,930	118,690
新規事業 預り金	66,987,057	61,283,234	5,703,823
預り補助金(1年以内)	1,463,880,153,483	134,348,054,290	1,329,532,099,193
流動負債合計	1,463,947,465,160	134,409,543,454	1,329,537,921,706
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	13,440,000	11,920,000	1,520,000
退職給付引当金	628,486	0	628,486
預り補助金(1年超)	894,844,440,000	0	894,844,440,000
固定負債合計	894,858,508,486	11,920,000	894,846,588,486
負債合計	2,358,805,973,646	134,421,463,454	2,224,384,510,192
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受取助成金	97,614,195	146,780,070	-49,165,875
指定正味財産合計	97,614,195	146,780,070	-49,165,875
(うち特定資産への充当額)	(97,614,195)	(146,780,070)	(-49,165,875)
2. 一般正味財産	735,260,734	748,692,926	-13,432,192
(うち特定資産への充当額)	(300,000,000)	(400,000,000)	(-100,000,000)
正味財産合計	832,874,929	895,472,996	-62,598,067
負債及び正味財産合計	2,359,638,848,575	135,316,936,450	2,224,321,912,125

正味財産増減計算書

(令和3年 4月1日から令和 4年 3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①受取会費	50,000,000	50,000,000	0
正会員受取会費	50,000,000	50,000,000	0
②受取助成金振替額	49,165,875	33,658,930	15,506,945
新型コロナウイルスワクチン等管理事業	49,165,875	33,658,930	15,506,945
③雑収益	936,377	359,904	576,473
受取利息	936,377	359,904	576,473
経常収益計	100,102,252	84,018,834	16,083,418
(2) 経常費用			
①事業費	110,317,805	79,122,307	31,195,498
センター支援事業費	57,790,926	37,868,124	19,922,802
預り補助金等への振替額	928,296	310,196	618,100
事業管理費	51,598,583	40,943,987	10,654,596
役員報酬	10,289,640	9,071,130	1,218,510
給料手当	21,737,347	15,375,726	6,361,621
通勤交通費	602,103	569,617	32,486
役員退職慰労給付費用	1,444,000	1,842,500	-398,500
退職給付費用	628,486	0	628,486
福利厚生費	4,039,505	3,228,825	810,680
会議費	238,285	229,883	8,402
旅費交通費	46,508	50,438	-3,930
図書調査費	82,764	82,764	0
通信運搬費	230,256	203,704	26,552
減価償却費	43,445	46,973	-3,528
消耗什器備品費	35,149	382,570	-347,421
消耗品費	407,980	317,654	90,326
賃借料	9,283,907	7,605,165	1,678,742
諸謝金	1,483,190	646,610	836,580
委託事務費	0	727,610	-727,610
広報費	356,400	0	356,400
雑費	649,618	562,818	86,800
②管理費	3,216,639	9,860,887	-6,644,248
役員報酬	541,560	1,760,070	-1,218,510
給料手当	709,937	1,249,166	-539,229
通勤交通費	12,185	8,575	3,610
役員退職慰労給付費用	76,000	357,500	-281,500
福利厚生費	166,876	422,142	-255,266
会議費	954,543	679,629	274,914
旅費交通費	3,786	18,512	-14,726
図書調査費	4,356	4,356	0
通信運搬費	12,119	52,412	-40,293
減価償却費	43,446	46,973	-3,527
消耗什器備品費	1,850	20,135	-18,285
消耗品費	21,473	43,489	-22,016
賃借料	488,627	1,401,154	-912,527
諸謝金	75,012	54,590	20,422
租税公課	22,050	58,200	-36,150

科 目	当年度	前年度	増減
委託事務費	0	3,198,757	-3,198,757
広報費	39,600	396,000	-356,400
雑費	43,219	89,227	-46,008
経常費用計	113,534,444	88,983,194	24,551,250
当期経常増減額	-13,432,192	-4,964,360	-8,467,832
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職給付引当金戻入	0	212,685	-212,685
経常外収益計	0	212,685	-212,685
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	212,685	-212,685
当期一般正味財産増減額	-13,432,192	-4,751,675	-8,680,517
一般正味財産期首残高	748,692,926	753,444,601	-4,751,675
一般正味財産期末残高	735,260,734	748,692,926	-13,432,192
II 指定正味財産増減の部			
受取助成金	0	180,439,000	-180,439,000
一般正味財産への振替額	-49,165,875	-33,658,930	-15,506,945
当期指定正味財産増減額	-49,165,875	146,780,070	-195,945,945
指定正味財産期首残高	146,780,070	146,780,070	146,780,070
指定正味財産期末残高	97,614,195	146,780,070	-49,165,875
III 正味財産期末残高	832,874,929	895,472,996	-62,598,067

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

原価法によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

付属設備及び什器備品

定率法を採用しています。

(3) 引当金の計上基準

① 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支払に備えるため、役員退職金規程に基づく必要額を計上しています。

② 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しています。

(4) 消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
役員退職慰労引当資産	11,920,000	1,520,000	0	13,440,000
退職給付引当資産	0	628,486	0	628,486
センター支援事業引当資産	400,000,000	0	100,000,000	300,000,000
新型コロナウイルスワクチン 管理事業特定預金	146,780,070	0	49,165,875	97,614,195
合計	558,700,070	2,148,486	149,165,875	411,682,681

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりであります。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正味 財産からの充当 額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
役員退職慰労引当資産	13,440,000	(—)	(—)	(13,440,000)
退職給付引当資産	628,486	(—)	(—)	(628,486)
センター支援事業引当資産	300,000,000	(—)	(300,000,000)	(—)
新型コロナウイルスワクチン管理事業 特定預金	97,614,195	(97,614,195)	(—)	(—)
合計	411,682,681	(97,614,195)	(300,000,000)	(14,068,486)

4. 担保に供している資産

該当事項ありません。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
附属設備	1,761,144	1,375,187	385,957
什器備品	221,029	180,230	40,799
合計	1,982,173	1,555,417	426,756

6. 補助金等の内訳、交付者及び当期の増減額並びに残高

補助金等の内訳、交付者及び当期の増減額並びに残高は、次のとおりであります。

(単位：千円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
(1) 受取助成金 (基金管理事務費)						
新型コロナウイルスリスク管理 事業	厚生労働省	146,780	0	49,165	97,614	指定正味財産
小計		146,780	0	49,165	97,614	
(2) 預り補助金						
新型コロナウイルス等生産 体制整備事業	厚生労働省	134,348,054	2,959,519,420	735,142,881	2,358,724,593	流動負債 固定負債
小計		134,348,054	2,959,519,420	735,142,881	2,358,724,593	
合計		134,494,834	2,959,519,420	735,192,046	2,358,822,207	

(注) 千円未満は、切捨て計算しております。

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりであります。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
事業費計上による振替額	49,165,875
合計	49,165,875

8. 重要な後発事象

該当事項ありません。

附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産の明細は、財務諸表に対する注記2.に記載しているため、記載を省略いたします。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	11,920,000	1,520,000	0	0	13,440,000
退職給付引当金	0	628,486	0	0	628,486

(注) 計上の理由及び金額の算定方法は財務諸表に対する注記1. 重要な会計方針に記載のとおりであります。